

成城大学文芸学部創設70周年記念事業

学芸員課程創設50周年記念シンポジウム



何を
する
仕事
？



どうすれば
なれる？

その魅力と
面白さ



学芸員 仕事

という



何を
して
やるの？



2023.9.30 (Sat.) 14:00 - 16:00

会場：データサイエンススクエア (成城大学9号館2階)

【企画】 成城大学 学芸員課程委員会

<登壇者>

- ・ 大城 菜里恵 (栃木県立美術館)
- ・ 高橋 真作 (東京国立博物館)
- ・ 玄蕃 充子 (文化庁)
- ・ 田井 慎太郎 (大日本印刷株式会社)

<コーディネーター>

- ・ 篠原 聡 (東海大学准教授)
- ・ 吉井 大門 (横浜市歴史博物館学芸員)

参加方法

講演は会場でご参加いただくほか、オンライン配信(Zoom)で視聴することも可能なハイフレックス型で開催します。

参加をご希望の方は、9/25(月)までに以下の事前申請フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/CFcpTUqsaCZNJGnK8>

※オンラインでご参加の場合は、申請時にご記入頂いたメールアドレス宛てに当日までに参加用URLをお送りします。



お問い合わせ：成城大学教務部学芸員課程 gakugei@seiyo.ac.jp

詳細は裏面へ！

学芸員という仕事

その魅力と面白さ

シンポジウム開催の趣旨

博物館は、多様な世代の人々が集まり、実物の資料や作品を通じて学んだり、楽しんだり、考えてみたりすることができる発見と創造の場です。こどもから大人まで、誰もが驚きと感動のなかで新しい世界や未来への扉を開くことができます。博物館で働く専門的職員のことを学芸員といいます。成城大学文芸学部では学芸員の資格取得が可能です。今回のシンポジウムでは現場の学芸員や研究員、文化財を扱う公務員や博物館関連業界で活躍するOBOGが学芸員の仕事の魅力や大学での学びの意義などについて語り合います。

登壇者・コーディネーターの紹介

[登壇者] ^{おおしろ まりえ} **大城 栞里恵** (栃木県立美術館)



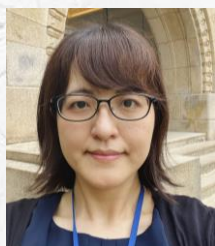
2023年成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程後期満期退学。
2020年より現職。企画展「名画でたどる西洋絵画400年——珠玉の東京富士美術館コレクション」(2021年)、「川島理一郎展——描くことは即ち見ること」(2023年)を担当。学校連携など教育普及にも力を入れている。

[登壇者] ^{たかはし しんさく} **高橋 真作** (東京国立博物館)



2005年成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程後期中途退学。
鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館等を経て、2018年10月より現職。専門は日本絵画史。とくに水墨画や禅宗美術を守備範囲とする。特別展「鎌倉×密教」(鎌倉国宝館、2011年)、企画展「出土漆器の美」(鎌倉歴史文化交流館、2018年)、特別展「東福寺」(東京国立博物館、2023年)など多数の展覧会を担当。

[登壇者] ^{へんば あつこ} **玄蕃 充子** (文化庁)



2017年成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻博士課程後期満期退学。
2017年4月、千葉県船橋市教育委員会に民俗担当の学芸員として入職し、文化財行政に従事。2021年、船橋市郷土資料館配属となり、展示企画等に携わる。2022年4月より現職。民俗文化財部門の調査官として文化財の指定・登録・選択、保存・修理等に関する業務を担当。

[登壇者] ^{たい しんたろう} **田井 慎太郎** (大日本印刷株式会社)



2009年成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程前期修了。
2009年4月、大日本印刷株式会社に入社。以来、ミュージアム施設を中心とする鑑賞システム・スペースデザインの企画開発に従事。2019-2022年にフランス国立図書館リシュリュー館のプロジェクトを担当し、鑑賞システム「みどころシリーズ」を開発。現在は、それらを活用した事業企画、販促を行う。

[コーディネーター] ^{しのはら さとし} **篠原 聡** (東海大学准教授)



2006年成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程後期満期退学。
東海大学講師を経て現在、同大学ティーチングクオリフィケーションセンター准教授、松前記念館学芸員兼事務室長代行。学生たちとユニバーサル・ミュージアム(誰もが楽しめる博物館)の実践や神奈川県「ともいきアートサポート事業」等に取り組む。鍋木清方記念美術館客員研究員、読売新聞アートアドバイザー等。

[コーディネーター] ^{よしい だいもん} **吉井 大門** (横浜市歴史博物館学芸員)



2006年成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程前期修了。
日本郵船歴史博物館などを経て、2019年より現職。専門は近世・近代日本美術史。鍋木清方門下である山川秀峰研究。作品・資料がどのように社会や文化、政治、制度と関わり制作され受け入れられたかといった美術受容史を大きなテーマとする。

◆シンポジウム詳細について

[成城大学文芸学部 講演会ページ] <https://www.seijo.ac.jp/events/sym230930.html>

※参加費無料 お申込み多数の場合は、学生を優先のうえ抽選となる場合がございます。

※未就学児の入場はご遠慮ください。



◆成城大学文芸学部 学芸員課程の活動について

[成城大学学芸員課程] <https://www.seijo.ac.jp/students/univ-system/license/curator/>

成城大学学芸員課程委員会では、取り組みの一環としてニュースレターを定期的に発行しています。

これまでに発行したニュースレターは上のリンクよりご覧いただけます。



お問い合わせ：成城大学教務部学芸員課程 gakugei@seijo.ac.jp